

第2号様式（第3関係）

令和2年度春日井市民病院事業評価委員会議事録

1 開催日時 令和2年10月1日（木）午後3時～午後3時50分

2 開催場所 春日井市民病院3階 講堂

3 出席者

【会長】	春日井市子ども会育成連絡協議会	名誉会長	中村 重和
【副会長】	春日井市老人クラブ連合会	会長	高塚 徳夫
【委員】	春日井市医師会	理事	福井 隆介
	春日井市薬剤師会	会長	林 きよみ
	春日井市婦人会協議会	副会長	横井 広美
	税理士		安藤 宣貴
	春日井市健康福祉部	部長	山口 剛典
【事務局】	春日井市民病院	院長	成瀬 友彦
		看護局長	根岸 かほり
		事務局長	丹羽 教修
		管理課長	橋本 健
		医事課長	兒島 康万
		管理課長補佐	西川 和範
		管理課長補佐	中村 秀和
		医事課長補佐	越 統靖
		医療連携室長補佐	高村 健次
		管理課主査	亀谷 信義

4 傍聴者 なし

5 議題

- (1) 令和元年度第2次春日井市民病院中期経営計画〔改定版〕の事業報告について
- (2) 中期経営計画の改定方針について
- (3) その他

6 会議資料

- 資料1 春日井市民病院事業評価委員会名簿
- 資料2 春日井市民病院事業評価委員会規則
- 資料3 令和元年度第2次春日井市民病院中期経営計画事業報告書
- 資料4 中期経営計画の改定方針

7 議事内容

- (1) 委嘱状及び辞令の交付について
院長から福井委員に対し、委嘱状及び辞令の交付を行った。
- (2) 会議の公開等の確認について
会議は公開とし、議事録は「要点筆記」で作成し、会長及び副会長が確認・署名することを確認した。
- (3) 令和元年度第2次春日井市民病院中期経営計画事業報告書について
 - 【橋本課長】 (資料3に基づき説明)
 - 【安藤委員】 資料6 ページ、基本的取組1-1 救急医療の充実、1 高度で専門的な医療提供体制の確保の(2) 心疾患について、昨年度の資料と比較したところ、昨年の医師6人のうち待機2人から待機1人になっていますが、減少した理由を教えてください。
 - 【成瀬院長】 平成30年度の時点では、待機2人としていましたが、呼ばれる回数が多かったため、昨年度から循環器内科の医師1人を当直としたためです。
 - 【山口委員】 資料1 ページの中段に、新棟の増築を令和4年5月開設に向けて設計に着手したとの記載があります。市民病院では、小児アレルギーの専門医が充実しているという話を聞いております。アレルギーセンターの開設によって小児アレルギー治療が充実することは、市民病院の特色が出せる非常に良いことだと思いますので、広報春日井や報道発表で市民へのPRをしっかりと行ってください。
 - 【成瀬院長】 新棟の増築については、当初は3階の手術室の拡張だけを考えていましたが、1階と2階の活用方法を検討したときに、春日井市では、区画整理事業を積極的に行い、若い子育て世帯に多く住んでもらおうという動きがあることを踏まえ、2階に小児アレルギーセンターを開設することとなりました。小児アレルギーは、専門的に診ているのは少数の施設しかなく、尾張地区には現在ありません。開設をすれば、春日井市

だけでなく、他の地域から広く患者さんに来院いただけると思っています。しっかりと市の広報、春日井駅のデジタルサイネージなどで積極的にPRをして、愛知県下1番のセンターにしたいと思います。

(4) 中期経営計画の改定方針について

【橋本課長】 (資料4に基づき説明)

【林委員】 処方箋の疑義照会をしても処方がそのままになっている事例があるのですが、どうお考えですか。

【成瀬院長】 私は支払基金の審査委員をしまして、例えば用法違いや禁忌に該当するものについては必ず審査の対象になっています。しかし、用法に極端な相違がなければ禁忌であっても、医師が必要と判断した処方箋は認められていますので、薬局から疑義照会を受けてもそのままになっている場合があります。全ての事例がそうとは限りませんので、薬剤師からのアドバイスをしっかり聞くように医師に伝えたいと思います。

【林委員】 規模の大きな病院でも診療報酬が査定されていることを私達も把握しているので、心配になります。大きな金額でなければ、病院に連絡していないというのが現状だと思います。たとえ少ない金額であっても件数が多くなれば大きな金額になります。

【成瀬院長】 私達も薬剤の細かな査定は毎月精査しています。当然少ないほうが望ましいです。思い違いにより大量に処方した件について、薬剤師からの指摘で修正することもありますので、十分に注意していきたいと思います。

【山口委員】 先ほど、資料4の最後、「医師等の働き方改革の推進」で、看護師の特定行為研修の受講や医師事務作業補助者の配置による医師業務のタスクシフティングを推進するとの説明がありました。これは資料3の13ページに記載の「特定行為に係る看護師育成状況」での慢性疾患管理モデルのことを指していて、これらの研修の受講を今後も進めていくということでしょうか。

【成瀬院長】 医師業務の負担を軽減するため、特定行為研修を受講すれば看護師ができる業務が広がります。例えば麻酔業務も、麻酔科の医師が1人いれば、看護師が代わりに全身麻酔できますし、手術での縫合も研修を受講して修了すれば看護師が実施することができます。当院も少しずつ増やして、医師の増

員が難しい中、医師業務を看護師が補っていきたいと思っています。

【横井委員】 先日、腹部エコーを受けました。検査の担当者が連れて行ってくれたので迷わなかったのですが、病院が迷路のように思われ、今後新たな診療施設が建設されれば、さらに複雑な構造になるのではないかと心配しています。患者の立場としては、足下に矢印を引くなど分かりやすい動線となるよう検討をお願いします。

【成瀬院長】 貴重な意見をありがとうございます。当院は、慣れた職員にとっては単純な構造に思えるのですが、初めて来院された患者さんにとっては、奥まった箇所が分かりにくいということもあると思います。確かに、外国人を多く受け入れている病院では、目的地ごとに様々な色の線が廊下に引いてあり、線に沿って移動するという病院も見受けられます。当院では外国人の受診は多くないのですが、表示看板や受付に簡易的な地図を設置するなどして工夫をしています。今後も来院者に分かりやすい動線になるよう検討していきます。

【安藤委員】 大きな百貨店では、タブレットで案内しているところがあります。案内に人員を割いてしまうと他の業務に使える時間が少なくなります。長期的に見ればタブレット等を導入するコストの方が人件費よりも少ないこともありますので、これも一つの選択肢だと思います。案内のために業務が中断されれば、業務を再開するとき何をどこまでやったかが分からなくなることはどの病院でもあり得ることだと思います。

【成瀬院長】 確かにそういう百貨店はあります。タブレットで案内できると良いですね。退職者を対象にボランティアを募集して案内係をお願いしている病院もあります。リタイア後の高齢者が案内のボランティアをすることで健康増進につながる一石二鳥の効果があります。ご意見のとおりタブレットが導入できれば一番良いのですが、今後の財務状況を踏まえて検討させていただきます。自動精算機も同様ですが、積極的に導入して患者さんのスムーズな動線を確保できるようにしていきたいと思っています。

【安藤委員】 設備投資よりも人的コストの方が高いはずですが、雇用を守るのも大事ですが、タブレット等を導入して病院の稼働率を上げていくことが大切になると思います。

【中村会長】 ご質問が出尽くしたようですので、続きまして議題3その他について事務局からよろしくお願ひします。

【橋本課長】 事前の質問で、高塚委員から、「コロナウイルスの影響で厳しい状況のようですが、今季の見通しはどうか。30%ほど減少していると聞いています。」というご質問をいただいています。

【成瀬院長】 収益が最も落ち込んだのは5、6月です。通常の2割強収益が減少しました。現在は2割弱の減少ですが、昨年とは比較できないほど非常に厳しい状況です。しかしながら、コロナだから赤字でも仕方がないではなく、コロナでも春日井市民病院は赤字にならなかったというくらいの気持ちで職員一丸となって努力していくことを職員に朝礼で伝えました。残り半年ありますので、少しでも良い結果になればと思っております。

【中村会長】 以上をもちまして、本日の議題は全て終了しました。長時間にわたり会議の運営にご協力いただき、本当にありがとうございます。

【橋本課長】 本年度中の中期経営計画の改定に向けて準備を進めているところです。本日は中間案をお示しさせていただきましたが、本年度は、今後検討を加えた改定案、延長案をご確認いただくため、2回目の会議を予定しています。日程については、令和3年1月7日（木）午後3時からを案として考えています。12月の中旬から下旬にかけて資料を送付したいと思います。改めて担当者から出席確認をさせていただきますので、よろしくお願ひいたします。

上記のとおり令和2年度春日井市民病院事業評価委員会の議事の経過及びその結果を明確にするためにこの議事録を作成し、会長及び副会長が署名する。

令和2年11月27日

会長 中村重和

副会長 高塚徳夫